

ハローワーク高松 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標「就職件数（目標 7,720 件）」、「充足数（目標 8,830 件）」の目標達成を最重点と考え、求人者サービスでは、求人充足会議の充実を図り、積極的・能動的マッチングを組織的に実施した結果、検討対象求人数 695 人に対し、充足数 270 人、充足率 38.8%、重点支援対象求人では求人数 129 人に対し、充足数 68 人、充足率 52.7%を達成しました。求職者サービスでは、プラスサービスの提供に重点を置き、応募書類添削、面接準備支援、手持ち求人による提案型紹介を高松所全体で 47,654 件実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者サービスとしての求人充足会議について、求人充足促進のため実施方法等を整備し（支援対象求人のフォローアップ状況の「見える化」による部門間での情報共有など）、求人記載内容の充実等を図るため、求人受理時におけるチェックポイント・確認事項等を作成し、活用しています。

その他、「事業所採用担当者による正社員求人説明会」を開催し、求人者サービスに加え求職者向けのサービスの向上等の改善を行いました。（平成 29 年度実績、開催回数 9 回、参加事業所 35 社、参加求職者数 216 人、紹介件数 28 件、就職件数 6 件。）

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者サービスとして、安定所の支援、サービス内容の周知が十分といえない面があり、今後、安定所の求人者支援、サービス内容の周知、利用促進を進めてまいります。

平成 30 年度から「人材確保対策コーナー」（以降「コーナー」と表記。）を設置したことに伴い、人材不足分野の求人については、求人検索におけるマッチングの向上を目的とした「求人票職種名標記の標準化」を行い、人材不足分野での求職者の確保では、すべての新規求職者に対するアンケート調査による人材不足分野への興味の有無を調査し、コーナーへの誘導を行います。また、個別面接会の開催、プラスサービスの強化など人材不足分野の求人者とコーナー支援対象求職者とのマッチングを図ります。

求職者の減少傾向が続く中、高齢求職者の割合が高くなっている状況から、求人者に対し高齢者雇用の促進（求人条件の年齢面での緩和など）を助言し、高齢求職者のマッチング環境を整えるとともに求人の充足促進に努めてまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職の促進では、原則、全認定日、全員相談とするところ、効率的でない面も見られるため、効果的効率的な実施方法として、初回認定日、給付制限期間中の認定日応当日での来所勧奨、支給終了前認定日における全員相談を実施します。その他、求職者の緊要度について、職業相談ごとに分析把握し、適宜、緊要度の見直しを行い、求職者サービスへの活用に取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

障害者雇用の促進として、雇用率未達成事業所への指導・支援では、所幹部職員による訪問指導、関係機関と連携した指導援助を実施しました（訪問指導件数 99 件、(内数) 所幹部職員による訪問指導 24 件、(内数) 関係機関と連携した訪問指導 3 件）。障害者雇用の各種支援制度をまとめた「障害者雇用のすすめ」を作成し、障害者の雇用経験やノウハウが不足する中小企業への支援策として活用しました。障害者就職面接会を 9 月・2 月に開催（82 社、213 名／就職 22 名）、障害者雇用に対する理解や雇用管理等の知識の提供を目的にしたワークショップを 10 月 3 日に開催（7 社参加）、ミニ面接会の開催（10 回述べ 10 社、19 名／就職 3 名）といった取組を行い、障害者の就職件数目標値 349 件に対して 362 件（進捗率 103.7%）を達成いたしました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者の 就職件数	障害者の 就職件数	正規雇用 フリーター 一等件数	マザーズHW重 点支援対象者 就職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	生涯現役 窓口 65 歳以上就 職率
実績	7,213	8,220	2,083	96.3%	95.0%	20.6%	19.7%	270	362	1,341	100.7%	22,352	3,602	96
目標	7,720	8,830	2,055	90.0%	90.0%	22.3%	21.3%	205	349	947	89.4%	23,841	3,771	82
目標達成率	93%	93%	101%			92%	92%	132%	104%	142%	113%	94%	96%	117%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク丸亀 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、所重点項目においては「正社員就職件数」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、新たな取り組みとして正社員対象企業説明会を11月以降隔月で実施し、計3回の開催で17事業所、求職者44名の参加を得ました。参加事業所の選定にあたっては、管内における人手不足感が著しい福祉分野の事業所を少なくとも1事業所は含めることとし、同分野から8事業所の参加を得ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

外部講師によるものも含め職員研修を年9回実施しました。また、若手職員については事業所訪問に同行させ職業理解を深めさせるほか、該当者にはキャリアコンサルティング研修を受講させました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査において所内掲示が分かりにくいという意見があったので、掲示物・リーフレットが数多く集まる玄関フロアの整備担当者を定め、日々の点検・整備を行うこととしました。併せて急募求人コーナーの求人票スタンドの挿入方向を横方向とし、また、高年齢者対象求人スタンドに挿入する求人票のサイズをA3に拡大し、見易くなるよう改善を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

本年度は職業相談窓口の活性化、人手不足分野に対する求人者支援の充実を最重点としました。求職者の生の声を求人事業所へ、求人事業所からのメッセージを求職者へ届けるために、求人充足会議で選定した早期充足対象求人を相談窓口に来所した類似の求職条件を希望する求職者へ提供し、生の求職者の声を収集し事業所へ伝えるとともに、それに呼応する事業所からのメッセージ等を把握・展示することを実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

平成28年度から取り組みを始めたウエルカムカードについては、昨年度の実績として、交付件数976件、1週間以内の再来所件数432件と再来所率が44.2%と間を空けない再来促進ツールとして有効に機能しています。ウエルカムカードは窓口混雑時、緊要度が高い者に随時、給付制限期間中の指定相談日等活用場面が多種に渡るため、活用場面ごとの効果検証を行うことで、効果的な活用場面の絞り込みをおこない、重点化を図っていくこととしております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

丸亀市、善通寺市では毎月出張相談を実施しており、生活保護受給者の就職件数は目標の38人に対して実績57人と目標を大きく上回ることができました。各自治体の担当者同席による予約相談により、対象者の状況に応じた計画的な相談が実施できており、応募先の選定から就職後の定着指導まで一貫した支援を実施しています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正規雇用に結び付いたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	3,961	3,250	797	94.0%	96.3%	18.3%	22.7%	57	620	12,060	2,018
目標	4,072	3,307	810	90.0%	90.0%	19.9%	22.5%	38	519	12,585	2,006
目標達成率	97%	98%	98%			92%	101%	150%	119%	96%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク坂出 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、管内の求人倍率が高水準で推移し、人手不足分野を中心として人材確保が課題になっていることから、前年度に引き続き就職件数の目標達成を目指すことが最重要であると考えました。そのための具体的な取組事項として、求職者個々の求職条件を的確に把握すること及び求人票の正確な記載などの基本業務を徹底することをベースとして、職業相談・紹介の拡充、様々な支援メニューや情報の提供、ミニ面接会の積極的な開催などにより、マッチングの精度を高めることに取り組みました。

新規求職者の減少傾向は続いており、結果として就職件数は目標に達成しませんでした。求職者の減少割合（前年度比▲4.8%）に比べて、就職件数・職業紹介件数の減少割合（ともに前年度比▲1.2%）が小さかったことから、マッチング精度を高めて就職件数を積み上げる取り組みは一定の効果があったものと評価しています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者が応募先の選定にあたって重視する「求職条件のこだわりポイント」の把握に努め、その上でオーダーメイド型の求人情報提供や各種支援メニューの案内など、精度の高いマッチングを効率的・効果的に実現するための取組を行いました。また、相談窓口への誘導・案内を強化するとともに、ミニ面接会の開催回数（28年度は6回開催し就職件数25件、29年度は8回開催し就職件数31件）を増やすなど積極的なマッチングに努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

引き続き、基本業務の徹底をベースとしたマッチング精度の向上により、一人でも多くの求職者の就職を実現に取り組みます。またミニ面接会について、従来型のものに加え特定エリアや求職者の年齢層あるいは業種に特化したものを新たに実施することで、就職機会を増やすとともに、人手不足に苦慮している求人者の期待に応えてまいります。さらに、庁舎内の掲示物についても利用者目線で改善を図ってまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

障害者の就職支援については関係機関や保護者等の企業就労に対する理解促進が、また生活困窮者及び新規学校卒業者等の就職支援については、自治体や関係機関との連携による効果的な支援の実施が、実績に大きく影響するため、今後もさらなる啓発・連携の強化に努めます。

2 総合評価 (※)

標準的な評価

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

求人者の人材確保対策として、通勤圏内にある他県を管轄するハローワークと連携したセミナーやミニ面接会を実施してまいります。また、自治体と連携し、面接会に合わせて自治体の移住施策をPRしてまいります。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対す る紹介率	生活保護 受給者等 の就職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職数
実績	2,004	2,468	545	97.2%	97.3%	21.5%	23.3%	44	90	6,917	1,050
目標	2,082	2,589	523	90%以上	90%以上	23.6%	23.6%	35	83	6,379	961
目標達成率	96%	95%	104%			91%	99%	126%	108%	108%	109%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク観音寺 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、雇用保険受給者の再就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、認定日における毎回相談を確実に実施し、早期再就職のメリットの説明に力を入れました。認定時間の細分化と希望職種別認定日の設定を行うことにより相談時間を確保するとともに、相談内容を充実させるために、希望求人情報の事前準備の取組を行い、早期再就職の促進に努めました。職種別認定に合わせたミニ面接会等を77回実施し、雇用保険受給者も含め、14人を採用に結びつけることができました。

さらに、正社員就職を促進するため、職員が講師となる「就職対策セミナー」を12回実施しました。

求職者担当制については平成29年5月に要領を改正し、積極的に取り組んだ結果、支援対象者258人のうち、雇用保険受給者57人を含め166人を就職に結びつけることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、月1回実施を目標に所内研修を実施しており、平成29年度は、10回実施しました。ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準監督署と連携した研修も実施しました。

また、関係機関が実施する研修へ、積極的に参加するようにしました（平成29年度6回参加）。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、わかりやすいチラシ・パンフレット等の陳列や見やすいポスター類の掲示を希望するなどの意見が多かったため、急募求人コーナーの設置場所を変更するとともに、吊下げ用フレームによるポスター掲示に変更するなどの改善を行いました。

また、苦情等提出先については、設置場所を通路からハローワーク入口に変更するとともに、用紙の設置場所を複数個所に増やしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者のうち、55歳以上求職者の占める割合が高くなっていますので、製造職の高齢者支援求人を出している事業所に特化した職場見学会等を開催する予定です。また、高齢者が就労可能な仕事内容にもかかわらず高齢者支援求人の表示がないものについて、高齢者支援求人の表示を求人者へ提案することにも積極的に取組みます。

生活保護受給者等の就職支援については、観音寺市・三豊市と合同の担当者向け研修会を1回、ミーティングを48回実施するなど、緊密な連携に取り組んだ結果、50件の就職に結びつけることができました。平成30年度も取組を継続するとともに、経済的事情等でハローワークへの来所が難しい求職者に対しては、市の支所へ出張相談を実施する予定にしています。

(4) その他業務運営についての分析等

平成29年度は、管内の主要産業である食品製造等製造業の事業所が、ライン増設等事業拡大による非正規を含む求人を多く募集する等、求人が増加する一方、求職者は減少傾向が続きました。正社員求人確保に努めるとともに、求職者の中で割合が増加している55歳以上求職者を支援するため高齢者支援求人を増加させ、求人及び求職者の紹介率の向上を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

介護分野について、就職準備セミナーと見学会並びに面談会を1ユニットにした介護フェアを、3回開催したところ、13名を就職に結びつけることができました。平成30年度も、フェア開催を幅広く周知して参加者の増加を図り、実施する予定にしています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の就職件数	介護・看護・保育分野の就職件数
実績	1,999	2,005	500	98.6%	94.5%	20.0%	24.0%	6,078	1,100	50	248
目標	2,064	2,003	485	90%	90%	21.6%	25.3%	6,211	1,065	25	265
目標達成率	97%	100%	103%			93%	95%	98%	103%	200%	94%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークさぬき 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、ここ数年の求職者微減・求人増の傾向を受け、求人充足対策を重点的に取り組むこととし、これまで、事業別（取組別）に分散し具体性に欠けていた各実施要領を「さぬき公共職業安定所マッチングプロジェクト実施要領」として集約のうえ、これに基づき、充足ミーティングを中心に、求人担当者制や求職者担当者制等に取り組みました。同要領を策定した 10 月以降は、充足ミーティング及び求人担当者制対象求人 56 件に対し、紹介 70 件、充足 28 件の成果があり、年間の充足件数の目標を達成しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員（29 年 4 月採用）が求人者支援員の事業所訪問に同行し、事業所担当者の生の声を聴き併せて事業所内を見学することで事業所情報の蓄積等に取り組みました。（29 年度は 21 事業所を訪問）

また、職業相談等に必要な各種労働法の知識を習得するため、労働基準監督官を講師とする研修を全職員が受講しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

従来、庁内掲示板には、求人者からの紹介督促があったものを中心に「急募求人」として求人票のみを掲示（常時 30 件程度）していましたが、見づらく、あまり効果があるものではありませんでした。そこで、求人充足ミーティングにより選定した求人（常時 10 件程度）について、求人票に加え、社屋や作業風景の画像情報と、その他ハローワークが把握した求人票記載内容以上の事業所情報（求人条件を緩和した内容等）をアピールポイントとしてコメントで添付し「ピックアップ求人」と称して掲示することにしました。

掲示件数は減ったものの、見やすくなり、分かりやすい情報が提供でき、来所者から好評をいただいています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

認定日の受給者全員相談に加え、29 年 11 月以降、給付制限中の受給者に対する認定日応当日等の相談を実施しており、29 年度は就職件数・雇用保険受給者の早期再就職件数ともに目標を達成しましたが、非常勤職員の就業時間の短縮の影響もあり、来所者の待ち時間が長くなっています。当所では、12:00～13:00 の時間帯は、受付 1 名・雇用保険窓口 1 名・職業相談窓口 2 名の交代制で対応してきましたが、この時間帯は比較的用户者が少ないため待ち時間が短く、13:00～14:00 の時間帯は利用者が多くなるうえに窓口職員が手薄になり、待ち時間が長くなる傾向がありました。そこで、30 年度からは、12:00～13:00 の時間帯は、受付 1 名・雇用保険窓口 1 名・職業相談窓口 1 名の交代制とし、13:00～14:00 の時間帯の窓口職員を増やし、待ち時間の短縮を図ることとします。このため、本取組み開始 1 ヶ月程度前から、12:00～13:00 の時間帯の窓口職員が少ない旨を周知し、できる限り在職者等の 12:00～13:00 の時間帯しか利用できない者を中心に対応することとします。

(4) その他業務運営についての分析等

29年度は、ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の件数が、年間目標 184 件に対し実績 139 件(達成率 75.5%)と低調となったため、30年度は、就職支援セミナーへの参加勧奨や、求職者担当者制による重点的な支援等により、目標(年間 141 件)を達成するよう取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 30 年 2 月 14 日にさぬき市と共催で、大学生(主に 3 年)・短大生(主に 1 年)を対象として、地元企業 4 社をまわる職場見学ツアー「さぬき市地元企業魅力発見バスツアー」を開催しました。

各企業で担当者からの説明等により、地元企業の魅力を伝え、若者の地元定着と地元企業の人材確保支援を目的としたものです。

大学生・短大生・専門学校生 9 名が参加。参加者の反応は概ね好評で、「仕事の内容がよくわかった」「企業の方から直接話が聴けてよかった」との声をいただきました。30 年度も開催予定です。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,833	1,335	395	100%	96%	16.9%	21.4%	59	3,971	899
目標	1,824	1,304	367	90%	90%	18.1%	22.5%	73	3,693	842
目標達成率	100%	102%	108%			93%	95%	81%	108%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク土庄 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所管内においては、少子高齢化などにより若年者を中心として労働力が不足している状況です。また、管内に介護施設が新設されるなど人手不足分野への雇用対策が課題となっています。

これらの課題に対し、当所として、①「正社員求人の確保」、②「介護・看護・保育の人手不足分野の就職促進」、③「新規高等学校卒業者の就職内定率 100%」の 3 点を重点として取り組みました。

① 正社員求人の確保のため、事業所訪問による求人開拓や商工会と連携した正社員求人の申込周知などを行い、1,214 人の正社員求人を確保することができました。② 介護・看護・保育分野への雇用対策として、所内でのミニ面接会の開催や積極的な求人マッチングを実施、87 人を同分野への就職に結びつけることができました。③ 新規高等学校卒業者の就職については、高校と連携を密にし、学卒専門相談員による職業相談、希望求人の開拓等を行い就職を希望する生徒全員が就職することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

高齢者や女性の労働力活用が地域の活性化につながることから、60 歳以上応募可能求人の特集掲示や「プラチナ世代応援求人情報」、育児や子供の学校行事に配慮してくれる「子育て支援求人情報」、学歴・経験・資格が不問の「チャレンジ応援求人情報」を月 1 回発行しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険を受給されている方への就職支援として、①個別就職支援項目の確認・プラン作成、②個別の最新求人情報提供、③早期再就職した場合に支給される再就職手当の試算額情報の提供を行う機会として、「就職準備 DAY」を月 1 回開催し、早期に就職が決定できるよう支援の強化に取り組んでいきます。

（4）その他業務運営についての分析等

島嶼部という単一労働市場においては、自治体との連携なくしては円滑な業務の推進は難しい状況です。自治体の移住推進事業については当所への期待も高く、所内に移住相談コーナーの設置等により移住希望者への支援に取り組んできました。

また、8 月には「小豆島就職面接会」を土庄町・小豆島町と共催で開催するとともに、小豆島地域における住民の就職・採用支援についての企画・調整を行う「小豆島地域活性化懇談会（チーム小豆島）」を町長、香川県小豆総合事務所長、高等学校長、商工会長等を構成員とし

て開催しました。

今後も、地域の活性化・雇用促進のため自治体等と連携を密にして事業を行ってまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

3 特記事項

平成 29 年 8 月 4 日に「小豆島就職面接会」を開催しました。今年度（平成 30 年 9 月 4 日開催予定）からは、参加対象者を小豆島への移住者にも拡大するため、東京での移住相談会に相談員を参加させてリーフレット等の配布、周知を実施して、参加勧奨を実施する予定です。

小豆島就職面接会の開催実績は、参加企業：35 社、参加求職者：35 名、就職者：5 名となっています。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹 介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・保育 分野 の就職件数
実績	544	532	106	100%	97.0%	14.7%	24.3%	1,214	228	87
目標	497	472	122	90%以上	90%以上	16.6%	23.4%	1,178	218	70
目標達成率	109%	113%	87%			89%	104%	103%	105%	124%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率